



# 淨土宗のアーティスト

第79号

発行  
浄土宗児童教化連盟

**発行人**  
關 恒明  
〒390-0851  
長野県松本市大字  
島内2464  
高松寺内  
**TEL** 0263-47-340  
**FAX** 0263-32-320

カブト虫

# カブト虫の ツノと頭だけの あたま

死がいが  
にわ  
いし  
うえ

何かに喰われたのか  
なにく

図鑑 ずかん

# カブト虫の天敵は むし てんてき

カラスとあつた

今年はうら山に  
ことし  
やま

カブト虫がいたのか  
むし

## カブト虫のツノは むし

カラスも食べのこすた

# 最強の武器なんだ さいきょう ぶき



詩・絵  
今井康隆

# 蚊帳と雷

文・絵 星木 レイ

おばあちゃんはやさしく言いました。  
「じゃあこの中は安全なんだね！」  
けんた君はその夜ぐつすりと眠ることが  
できました。

けんた君は雷が大きいです。こわくて  
こわくてたまりません。犬にしか聞こえな  
いくらい遠くで鳴っていてもおなかが痛くな  
なってしまいます。

ある夏の日。おばあちゃんに行つた時、  
ゴロゴロと雷が鳴りだしました。ざぶとん  
をかぶつてぶるぶるふるえているけんた君  
を見て、おばあちゃんは押し入れから蚊帳  
を出すと、四畳半の部屋につりました。も  
う夜だったので布団も中に敷いてあります。  
目をまん丸くして見ているけんた君に「こ  
うやつて入るのよ」とおばあちゃんは蚊帳  
のすそをパタパタとしながらパツと中へ入  
りました。

「蚊が入らないように気をつけてね」

けんた君はうなづきながらおばあちゃん  
の真似をしてパタパタパツと中へ入ると、  
フカフカの布団の上でした。お日様のいい  
匂いがします。

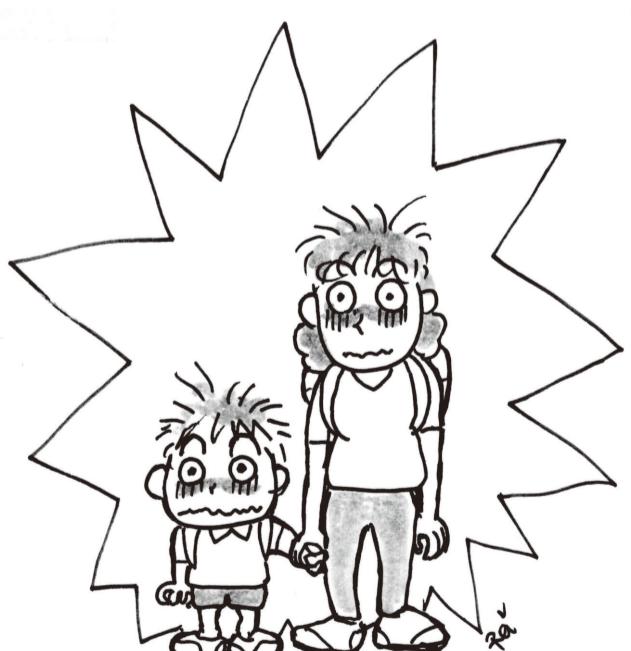
「蚊帳の中には雷は落ちないと言われて  
いるのよ」

でもけんた君の家はせまいので蚊帳を吊る  
部屋はありません。相変わらずゴロゴロ鳴  
り出すと、ソファの下にかくれたり、ま  
だお湯の張つてないお風呂の中でうずくま  
つてふるえていました。

もう夏も終わりのころ、お母さんはけん  
た君を遊園地に連れて行きました。ジエッ  
トコースターに乗つたり、観覧車で遠くを  
ながめたり、コーヒーカップでくるくる回  
つたり、とても楽しい一日を過ごしました。  
さて帰ろうかと出口の大テントの所まで

それ以来、けんた君はどんな大きな雷が  
鳴つても全然平気になりましたとき。めで  
たしめでたし…。

おしまい

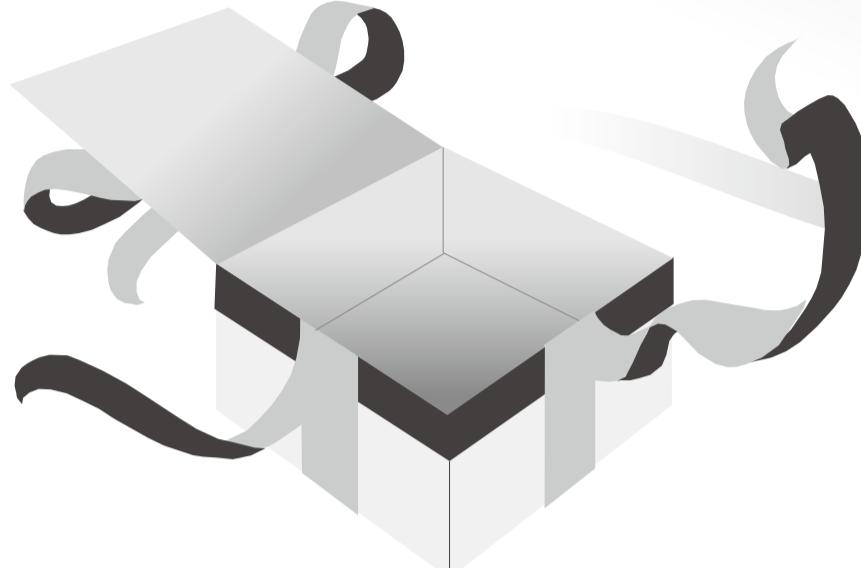


やがて雷雲は遠くへ去っていき、雨が上  
がつて辺りは静けさを取りもどしました。  
さわやかな風が吹いています。お母さんの  
手をぎゅーとにぎりしめていたけんた君  
は、お母さんを見上げて思わず笑い出しま  
した。お母さんも「あははーっ」と笑つて  
います。

ました。

水たまりをよけながら二人は仲よく帰つ  
て行きました。やがて空は夕焼けに染まり、  
カラスがカアカアと鳴きながら飛んで行  
きました。

水たまりをよけながら二人は仲よく帰つ  
て行きました。やがて空は夕焼けに染まり、  
カラスがカアカアと鳴きながら飛んで行  
きました。



# もん 質問 箱

**こた答え**  
「質問」  
小学五年生 女子)

「仏教」とは字の通り「仏」の  
教えです。「仏」の代表的な存  
在はお釈迦様。

お釈迦様は今から約2,500年前の人です。35歳の時に覚りを開かれ80歳でお亡くなりになるまで45年間人々に人生において大切な事を教えてくださいました。その教えは人それぞれの人柄に応じて変わります。

45年の教えは数限りなくあり、その教えはインドからシルクロードを通り中国へとやってきました。中国で漢字に訳されたものが皆さんが目にするお経です。お経にはお釈迦様の教えが書かれています。

また「仏」「教」とは仏になる教えと

も読むことができます。皆さん自身が仏様のような人になつていく教えです。毎日、明るく正しく仲良く過ごせる教えです。私たちには仏様になれるような心を持つっています。しかし仏心をキレイに磨かないと仏心はだんだん汚れます。悪い心になつていきます。悪い心は悪い言葉や悪い行動となり悪い人になつていきます。そうならないように仏心をキレイにみがく必要があります。

仏心をみがくには、仏様の前に座つて手を合わせましょう。自分自身と向き合う時間が作れます。「今日一日どんなことをしてきたか、どんなことを考えてきたか」自分の心と向き合いましょう。悪かつたことは「ごめんなさい」と反省しましょう。「もうやりません」とお誓いしましょう。「南無阿弥陀仏」と仏様のお名前を呼びましょう。

そうすることで心の汚れは消えてキレイになります。みんなにある仏心を輝かせるのが仏教の教えです。

